



部署を超えて組織された防災航空隊 『ブルーシーガルズ』



飛行訓練の様子



主力機『Matrice210』

静岡県 焼津市

BLUE SEAGULLS
MULTI-HERI FLIGHT TEAM



世帯数:58,806世帯

面積: 70.31 km²

令和3年4月30日現在





焼津市総合防災訓練



自主防救助隊訓練





防災航空隊(BLUE SEAGULLS)の発足





平成27年 7 月

- 大雨により、市内の山間部で土砂崩落が発生。
(全長約20m、斜度45度。集落からの距離280mの地点)





Key Point!

『災害対策本部機能の強化』 『災害情報の見える化』

機動指揮車に搭載し、常時出動可能な体制へ



- 2名操作が可能な大型機を追加配備

平成28年4月

『防災航空隊(ブルーシーガルズ)』を発足

【隊 長】 防災部長

隊の総括責任者

【副隊長】 地域防災課長

隊長の補佐

【第1小隊長】

防災対策担当主幹

【インストラクター
(第2小隊長兼任)】



教育・訓練・機体管理の責任者
操縦者の検定者

内部での人材育成
が可能



第1小隊 防災部 6名

第2小隊 その他部局 7名

(道路・河川・広報・農政など
平時での活用が検討される部局)



防災航空隊(BLUE SEAGULLS)の活動





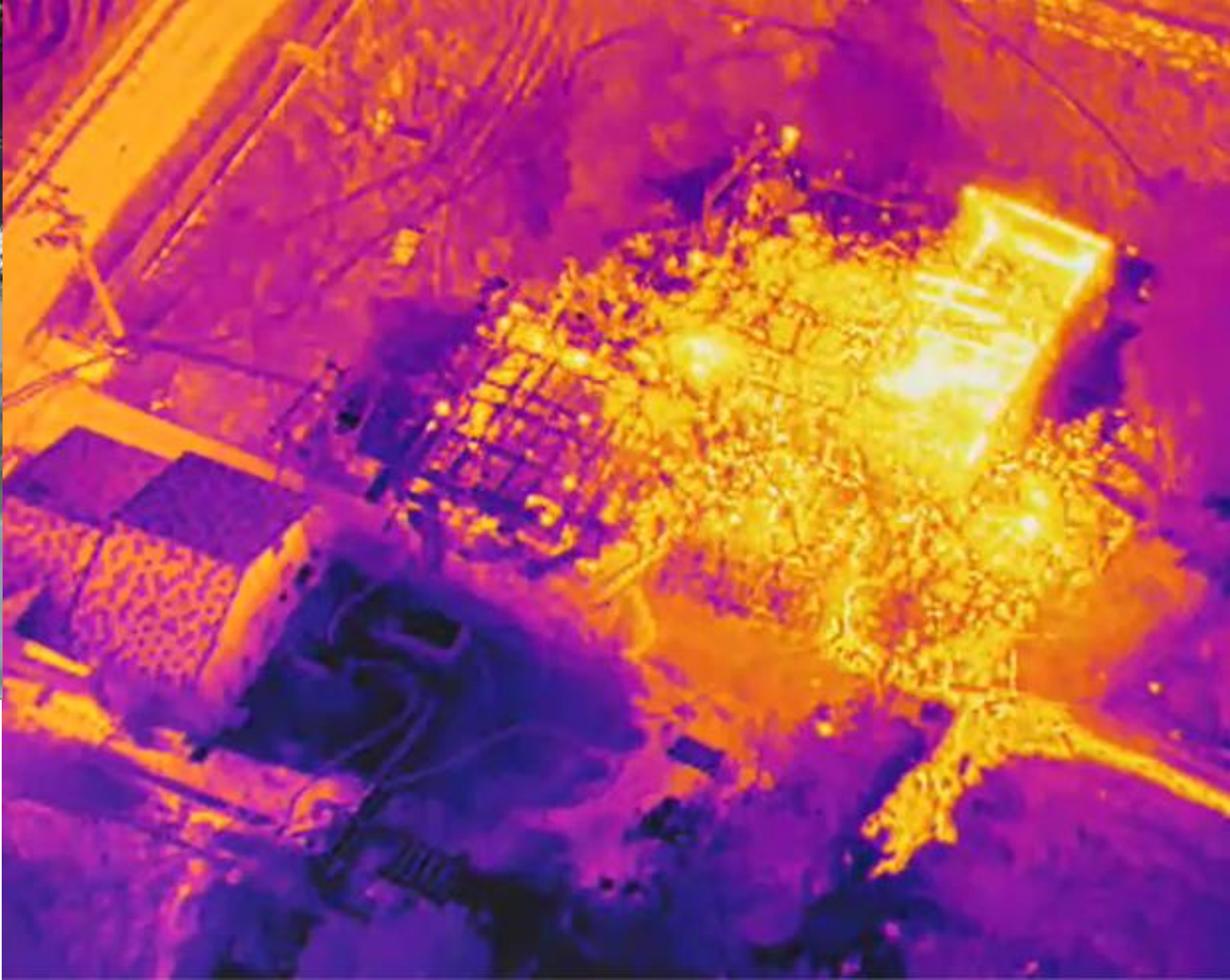
消火活動状況

赤外線カメラを利用した火災状況の把握

可視光カメラからの映像

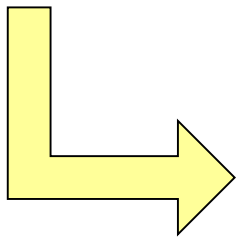
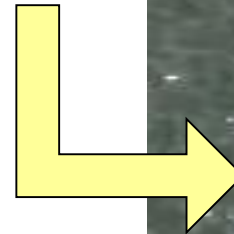


赤外線カメラからの映像





「水難救助」への活用に可能性を探い...



「山岳救助」への活用に可能性を探い...



消防本部との連携



様々な連携が生まれる『消防防災センター』



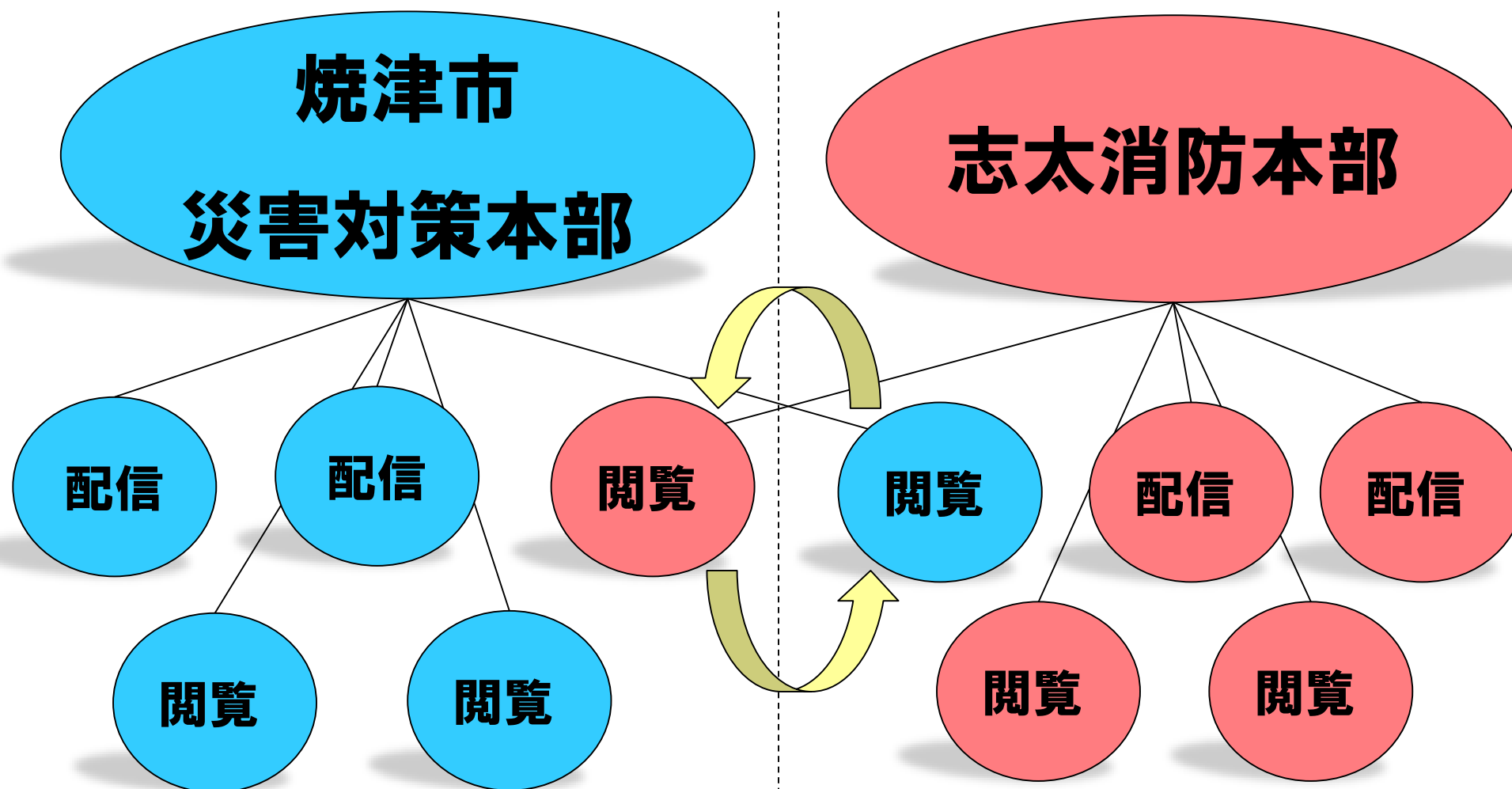
消防本部と
合同庁舎

映像共有
システム
の導入

訓練の実施



令和3年度 新たな映像共有システムの導入





現場指揮隊との
情報共有

指令センター
への映像中継





ドローンの全庁的な利活用



飛行内容の一例(焼津市花沢地区・土砂崩落現場)



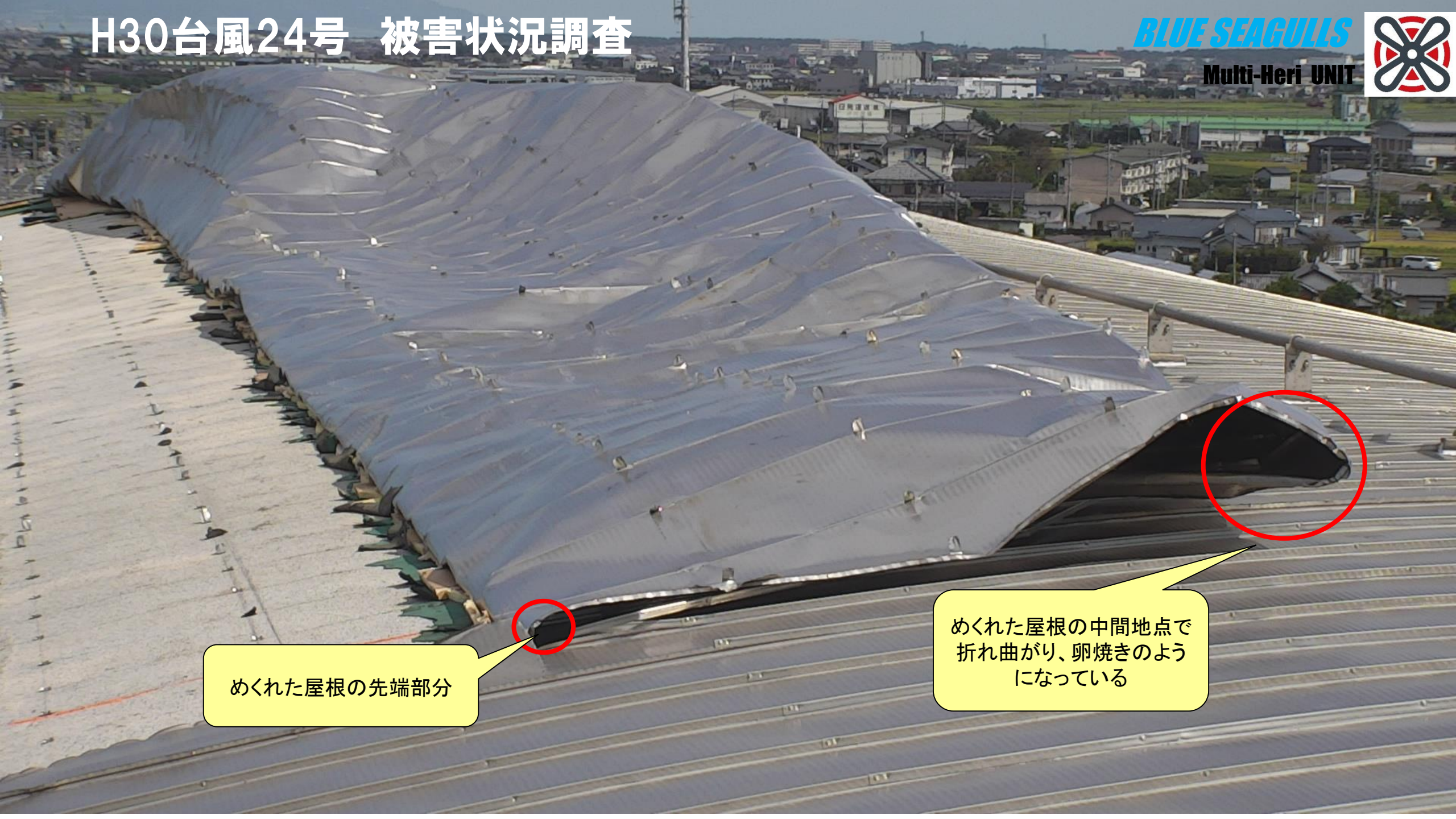
農政

- ・農道管理、土砂崩落確認
- ・耕作放棄地調査
- ・獣害対策、鳥獣生息状況調査

H30台風24号 被害状況調査

BLUE SEAGULLS

Multi-Heri UNIT



めくれた屋根の先端部分

めくれた屋根の中間地点で
折れ曲がり、卵焼きのよう
になっている



資産管理

- ・施設損耗確認やレイアウト検討
- ・施設屋根の劣化調査

大井川焼津藤枝スマートIC 建設工事



土木・建築

- ・建設工事等進捗管理
- ・道路、河川、橋梁等の状況調査

プロモーション撮影(焼津漁港・マグロの水揚げ)

BLUE SEAGULLS
MULTI-HERI FLIGHT TEAM



観光・広報

- ・プロモーション用動画撮影
- ・広報紙用画像撮影

SKY SHOOT

MULTI-HERI FLIGHT TEAM



消防団ドローン隊(SKY SHOOT)の発足





大規模災害時の「市」と「消防団」の連携強化

令和
元年度

1月「SKYSHOOT」発足（当時8名）

令和
2年度

新たに8名の「2期生」を育成

うち4名が**女性隊員**

令和
3年度

4月新たな機体の導入

SKY SHOOT

MULTI-HERI FLIGHT TEAM



消防団ドローン隊長より



ヘリポートや映像確認用モニターを有する消防団指揮車



ご清聴ありがとうございました